



とびまつ 妙子  
たえこ

NEW KOMEITO  
公明党  
鳥栖市議会議員

2014年(H26年)  
6月発行

第3号

発行者：とびまつ妙子後援会  
とびまつ妙子後援会事務所  
鳥栖市鷹木町1259-1  
Tel & FAX 0942-820054

# スマイル通信

## ご挨拶

無我夢中の毎日でしたが、ふと気づくと紫陽花が咲いている季節となり、もうすぐ夏になりますね。いつも皆様から、たくさんの励ましと勇気を頂き、心より感謝と御礼申し上げます。大変有難うございます。暑い季節がやってまいりますが、梅雨の時期、ご飯をしっかり食べることが夏バテしない秘訣だと、医学博士の秋野公造参議院議員よりお聞きました。皆様、どうかお体を大切になさってください。

## 今月号のTOPICS

### 公明党結党50年 政経セミナー・他

6月14日 公明党結党50年 政経セミナー



陳情する橋本市長  
国道3号及び国道34号の整備  
促進についての要望書を提出



太田国交大臣に陳情する古川県知事  
平成35年「国民体育大会・全国障がい者スポーツ大会」に向け  
有明沿岸道路や防災などのインフラ整備の要望書を提出  
古川知事自らプレゼンをし、太田大臣に要望！

【左から:河野義博参議・秋野公造参議・知事・大臣・遠山清彦衆議  
伊藤豊県議・江田康幸衆議・濱地雅一衆議・岡本三成衆議】



議員懇談会

議員懇談会では、現場に入り、現場の声を聞き、  
議員力をつけるようにとのご指導を賜りました。

太田国交大臣



飛松

太田大臣

国松市議

太田大臣 大変、有難うございました。

(裏面へ続く)

# 鳥栖市長提案 『健康長寿ナンバーワンのまちづくり』 『がん撲滅のまちづくり』『鳥栖っ子には日本一の教育を』

## 平成26年6月定例会 本会議一般質問

- ★がん検診・がん教育の推進について
- ★学校の教育環境について ★男女共同参画について
- ★うつ病・自殺対策について



飛松 妙子 議員

**男女共同参画について**  
**[飛松]**『男女が生き生きと働きともに支える社会づくり』『男女が自立し安心して暮らせるまちづくり』  
 本市の取り組みについて

**男女共同参画について**  
**[答弁者]**延長保育19時～23時や、ファミリーサポートセンター19時～翌朝7時の事業。障がい者の自立と社会参加の支援。性別や年齢に関わらず個性が生かせる社会を目指す男女共同参画の視点から関係各課と連携を図り各施策の充実に努める。

**がん検診とがん教育の推進について**  
**[飛松]**『男女が生き生きと働きともに支える社会づくり』『男女が自立し安心して暮らせるまちづくり』  
 本市の現状と取り組みについて  
**[答弁者]**カウンセラーよによる定期的な相談事業と、相談を受ける人材の養成(ゲートキーパー)事業を行っている  
**[飛松]**市民の皆様が、気軽にメンタルヘルスチェックができる、今の心の状態がわかる・心の状態を知るきっかけとなる『にこりの体温計』の導入を提案いたします。

**うつ病・自殺対策について**  
**[飛松]**がん検診受診率UPと共に大事なことは、再検査を100%受けて頂く市の取り組みと、がん教育の推進について  
**[答弁者]**医療機関から、精密検査受診の結果報告書が市に届き、未受診者など情報提供を考えていく。

**学校の教育環境への改善について**  
**[飛松]**障害者権利条約に『他の人と平等に、住みたい場所に住み、受けたい教育を受け』とあります。難病で身体に障がいがある小学6年の児童が、地元の中学校に通いたいが、バリアフリー化されてない為、学校生活が困難である。障がい児への対応と学校の改修事業計画について  
**[答弁者]**廊下のバリアフリー化やトイレの機能面確保等が、未対応である場合、就学時相談等の機会に情報収集を行い適宜対応を行っている。

5月3日 憲法記念街頭  
河野参議院議員・飛松

2014年5月22日公明新聞



原因不明の病と闘う大騎くん（左から2人目）、寿子さん（左端）親子を励ます（右から）飛松妙子と秋野氏

同氏は公明党中央委員会厚生労働委員会の国松敏昭市議と共に大騎くん宅を訪問

研究が進んでいた。寿子さんは、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

秋野氏は、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

秋野氏は、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

秋野氏は、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

秋野氏は、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

秋野氏は、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

## 原因不明の病の少年に希望

変容性骨異形成症

提案で  
秋野氏

佐賀・鳥栖市

「公明議員の支えで、親子そろって将来に希望を持てるようになりました」。秋野公造参議院議員の訴えが、裏で、今年度から厚生労働省に「胎児・新生児骨系統疾患の診断と予後に関する研究班」が設置されたのだ。同氏は骨成長とともに、変形し、関節や軟骨に異常が出る病気。患者は世界で最も約20人と極めて珍しく、治療法は解明されていない。秋野氏が大騎くんと出会ったのは2010年12月。同氏は公明党中央委員会厚生労働委員会の国松敏昭市議と共に大騎くん宅を訪問研究が進んでいた。寿子さんは、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

秋野氏は、「大騎くんの病気は、なぜか原因がわからず、心配です」と訴えていた。

(トビトビなるままに) 5月、初めて国会議員の河野義博参議院議員と一緒に街頭演説を実施。また、女性委員会の協力の元、今日までに30回を超える街頭活動をさせて頂きました。6月、政経セミナーに太田大臣を佐賀県に初めてお迎えし、大臣より『現場の声を聞いて市政に生かすことの出来る議員に!』との激励を頂き、市民の皆様とともに進む議員である事を決意しました。スマイル通信は、いかがでしたでしょうか?ご意見などございましたら、是非お聞かせ下さい。